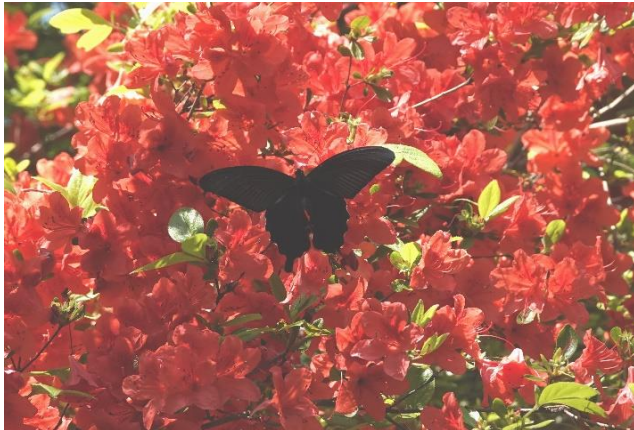


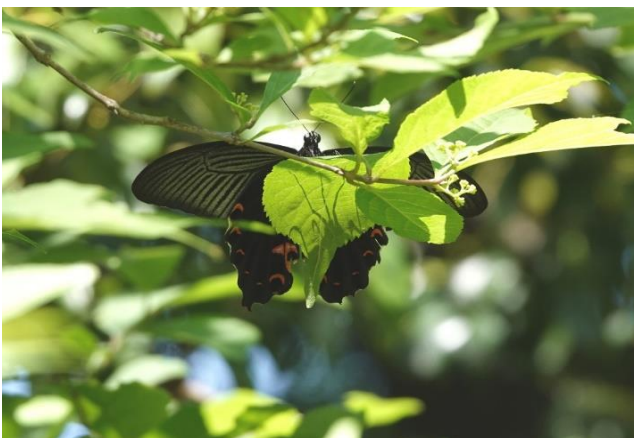
和名	分類	特徴ほか	会える場所			
			ハイム (中野島)	多摩川土手 (中野島周辺)	生田緑地	その他
クロアゲハ	アゲハチョウ科	代表的な黒いアゲハ	○	△	○	全国



川崎市 4月29日末 (2020年) レンゲツツジに飛来



八王子市 5月13日 (2020年) オオムラサキツツジで吸蜜



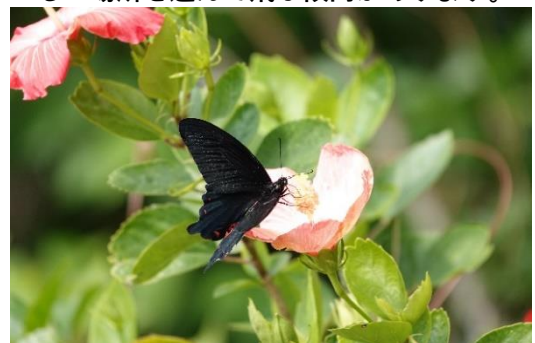
川崎市 5月23日 (2019年)
飛ぶ姿から、尾状突起がないのでナガサキアゲハと思い、とまってから撮影した。あとでよく見ると「尾」の切れたクロアゲハであった。まぎらわしい・・・

ただ、沖縄以南には無尾型のクロアゲハがいて、台湾では無尾が普通とのこと

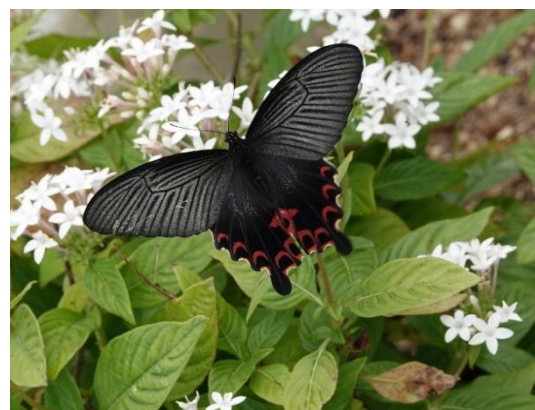
成虫発生時期 (月)											
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
食草 ○ 食樹						発生回数/年			越冬形態		
サンショウ、ミカン類						3~5			蛹 (サナギ)		

春から秋まで見られるアゲハチョウで、黒いアゲハチョウの代表格。ハイム内でも見かける黒いアゲハと言えば本種、尾のないナガサキアゲハ、或いは時折ジャコウアゲハ (多摩川土手に多い。オスは黒いがメスは黄灰色) ということになります。

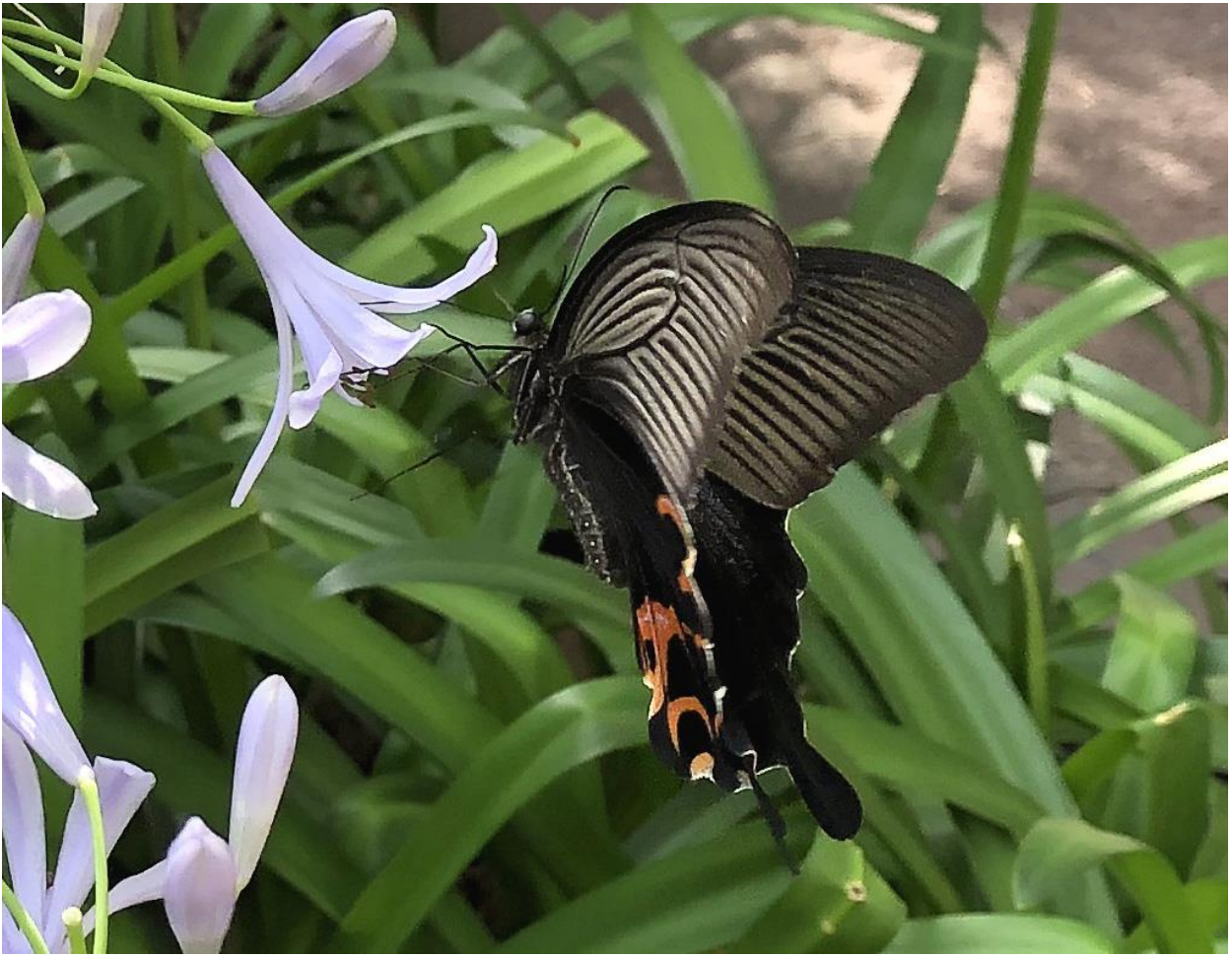
オスのアゲハ類は、「蝶道」と呼ばれる一定のルートを巡回するように飛ぶ習性がありますがこのルートはアゲハの種類と時間帯によって違い、クロアゲハは林内などの暗い場所を好んで飛び、アゲハチョウは明るい場所を選んで飛ぶ傾向があります。



石垣島 2月10日 (2020年) ハイビスカスで短尾型の♂



石垣島 2月11日 (2020年) ブバリアで吸蜜 短尾型の♀。後羽の赤の弦月紋が印象的



ハイム (川崎市) 7月10日 ♀ (2022年) アガパンサスで吸蜜



川崎市 9月13日 ♂ (2022年)